



坂井市

# 坂井市議会だより

6月定例会



大石ふれあいまつり

## 主な内容

一般質問 3～9

常任委員会報告 10～11



# 議長に大和氏 副議長に前川氏 就任

ごあいさつ



議長 大和 久米登

このたび、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。もとより浅学非才の身であり、あらためてその職責の重要さを自覚し、身が引き締まる思いであります。

さて、本市は人口約9万5千人の4つの地域自治区を持つ全国的にもまれな形態の自治体として誕生し、現在4年目を迎えています。この区切りの年にあたり、行政と議会が進むべき方向性を市民の皆さまと共感することは、非常に重要な使命であると考えております。生活や福祉、産業構造の面にお

いて、合併によるスケールメリットが活かされているか。一方、地域の獨創性を発揮し、活力と誇りを醸成する施策がなされているか。また、市民が満足できる行政運営を目指した改革が適切に行われるかなど、課題は多岐にわたります。

行政施策の実施状況や各課題に対する検討を重ね、坂井市の今後の方向性を明確にする1年となるよう職務に邁進したいと思えます。市民の皆さまのさらなるご指導をお願いして、就任のごあいさつといたします。

ごあいさつ



副議長 前川 重雄

今回、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。この上もない光栄と存じますとともに、その責任の重大さを痛感しております。

今、市を取り巻く厳しい社会情勢において、都市基盤の整備、循環型社会の構築、安全安心まちづくりなど課題が山積しています。

こうした中で、私たち議員は福祉の向上と地域の活性化を基本とし、時代に対応した各種施策を市民の皆さまとの対話を重ねながら、住みよい坂井市を目指して、努力を積み重ねていくことが必要と考

えております。

議会と行政は車の両輪といわれますが、今後も市民目線で互いに連携を深め、議長を補佐する立場から職責を全うしたいと思っております。

市民の皆さまの温かいご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

# 一般質問



嶋崎正宏

## 観光施策のあり方について

**嶋崎議員** マイナス成長15%といわれる厳しい経済環境の中、地域の各種振興策を停滞させてはならない。

観光産業は関連裾野の広い分野で、観光振興策も集中と選択が必要である。

①県の観光振興費と当市の観光振興費の比較、観光施設費の取り組み、観光業の地域実需は。

②市の観光ビジョン策定、福井坂井広域観光圏および合併前の越前加賀みずといで湯の文化連邦の相関関係をどう効果的に成果を創出するのか。

**市長** ①県の21年度観光振興費は約4億円。

当市の観光振興費は約1億2,000万円。市観光連盟を中心とした各観光協会のネットワーク化を構築し、市全域の地域力の向上につなげたい。

観光施設費は約1億2,800万円で、三国地区海岸線の自然環境の保全、施

設の維持管理が主である。

観光業の地域実需については、平成20年度の総入込客数515万2,000人、観光消費額235億3,000万円であり、今後より一層の観光客の増加を図りたい。

②平成21年3月に坂井市観光ビジョン戦略基本計画が策定され、既存の観光資源を生かしながら、基本計画に沿った観光推進事業を展開していく。

広域観光圏推進協議会、越前加賀みずといで湯の文化連邦との連携のもと、現状の宿泊客数の7%増の175万人を目標に掲げ、より一層の事業展開を図っていききたい。

**嶋崎議員** 坂井市観光連盟による一元化した観光施策を今後期待したい。



田中千賀子

## 学校給食のあり方について

**田中議員** 学校給食に民間委託クックチル方式が提案されているが、将来を担う子どもたちのためにクックチル方式の見直しをするべきでは。

学校給食法の改正を契機として、自校式などに見直しをしている自治体もある。

**市長** 平成20年9月の全員協議会で承認を得たものと認識している。

**問** 全員協議会は説明であり、議決は本会議である。

**教育長** 民間委託クックチル方式という方向性を了解したと認識している。

**問** 検討委員会に管理栄養士が入っていない理由は。

**教育長** 下準備をする中で参加している。

**問** 教育長は、学校給食法が平成21年4月より改正されたことを市長・職員に説明したのか。

**教育長** 関係者に説明している。

**問** 学校給食は、お腹が満たされることだけではなく、牛などの命をもらって生きている命の尊さを子どもたちに教えるなど、目の前の教育だけではなく、子どもたちが親になった時に給食を思い出し、成長していくことが生きた教材になるのでは。

民間委託になると利潤追求に走る心が心配。

**教育長** 丸岡南中学校がクックチル方式を採用しており、好評を得ている。

**問** 経済が低迷している中、学校給食の費用は1日約500円、約1万食で500万円、年約2000日で10億円、30年間で約300億円の経済効果がある。

地域ブランドにもなるので、学校給食の食材を地産地消でまかない、地元産業の活用化、雇用の拡大につなげるべき。

**市長** 地元の食材を使うよう努力する。



## 防災行政無線の整備について

辻 人志

**辻議員** 防災行政無線未整備地区である三国町を含めた統一的な防災行政無線を早急に整備すべき。

**市長** 来年度、未整備となっている三国町を含めた全域整備の実施設計を行い、平成23年度の工事着手を目指したい。

### ■活力ある長寿社会の実現について

**問** 今世紀半ばには、人口の3人に1人が65歳以上という超高齢化社会になり、高齢者の生きがいと健康づくりが大きな課題となっている。

地域自主的な高齢者活動グループである老人クラブがどんな役割を果たし、担おうとしているのか、その現状と活性化対策を問う。

**市長** 4月1日現在、104クラブ7,208人で会員数は減少傾向にある。

高齢になっても生きがいを持ち、地域で活動する機会を多く持つことや、人々とふれあうことで日常生活の不安を解消し、健康づくりにつなげていくことが必要で、そのためには、老人クラブや生涯学習での活動が大きな役割となっている。



▲老人クラブスポーツ大会

市では高齢者の生きがいと社会参加の促進を目的に、生きがいと健康づくり推進事業として引き続き支援していく。

**問** 働きたい高齢者への就業機会の提供を増やすべきでは。

**市長** 高齢者の就業機会確保の受け皿である坂井市シルバー人材センター事業が、健全に行われるよう今後も支援を行っていきたい。



## 道路標識の見直しと点検について

川畑 孝治

**川畑議員** 道路改良工事が終了し、道路形状が変わっても、速度制限などの道路標識の変更はない。

①道路標識の見直し・変更があつてよいと考えるが。

②市との協議についてどのように考えているのか。

③事故多発現場における事故防止の取り組みは。

**市長** ①規制標識は公安委員会で、案内標識や警戒標識は道路管理者が設置している。

②地域の要望や安全確保の観点から必要と思われることについては、市として要望を行いたい。

③警察や交通安全団体と協議し、対応策を検討している。

### ■ベルマーク運動について

**問** ①ベルマーク運動をどのように考えているのか。

②小中学校・公民館への情報提供についてどのように考えるのか。

③市全体にベルマーク運動を呼びかけ、取り組むべきではないか。

**教育長** ①活動を通して地域の人たちと交流を深め、仲間同士の交歓や子ども達とのコミュニケーションの場になると考える。

②各学校からの求めに応じて、地域住民に支援協力を働きかけたい。

③ベルマーク運動は人手と時間のかかる作業であり、多くの人達の協力が必要。

P.T.Aを中心とした地域ボランティアの人たちに支えられ、助け合いの輪が広がっていけばと考える。



▲随応寺・丸岡線



## 福井港・丸岡インター 連絡道路について

山田 崇

**山田議員** 坂井市の重要課題である福井港・丸岡インター連絡道路整備の進捗状況は。

**市長** 県は、平成21年度都市計画決定に向け、国の中期道路整備基本計画をベースに将来、交通量を推計し、その結果を基に22年度以降、道路規格の選定や交差点などの協議をする計画。

できるだけ早く福井港・丸岡インター連絡道路を整備することは重要であり、県に強く要望している。

### 各自治区の地域協議会 活動について

**問** 各自治区の地域協議会活動に具体的なテーマを持ち、

①耐震対策が必要な施設は、今後、統廃合も考えた複合施設として整備してはどうか。

②エコをイメージし、公共交通の活用でえちぜん鉄道・JR駅・丸岡バスターミナル周辺を整備し、まちづくりをしては。

**市長** ①地域協議会に方向性も含め意見を聞き、施設の有効活用の方角性を検討していく。

②公共交通の周辺整備によるまちづくりについては、まちづくり協議会など

が駅舎や周辺の美化活動に取り組めるよう環境づくりに努める。

**問** 地域自治区の特性を活かしたまちづくりと、地域協議会の役割については。

**市長** 地域協議会は、地域住民の連携について審議し、意見を述べてもらうほか、まちづくり計画や地域計画を策定、変更する場合に地域協議会の意見を聞くことになっている。

文化ホール・高椋公民館が支所に配置される中、支所周辺のまちづくりについては、地域協議会と協議しながら考えていく。



▲丸岡総合支所周辺



## 文化ホールを丸岡支所に整備

豊原 春雄

**豊原議員** 「丸岡町総合支所利用計画」によると、4階を改修することなどがある。

①整備などの計画、日程は。

②施設の内容、規模は。

③関係者の意見をどのように取り入れるのか。

④財源については。

**教育長** ①丸岡総合支所の改修と合わせて、4階を文化ホールとしたい。11月にプロポーザルを実施、年度内に基本設計、22年度に実施設計・改修工事費の予算を計上したい。

②規模については、ハートピア春江の小ホール程度。  
舞台装置、控室、化粧室など、新規にエレベーターの設置も考えている。

③プロポーザルの実施前に関係者の意見を聴き、反映していきたい。

④一般財源や起債で対応、他の財源がないか検討したい。

### 人工林の管理について

#### 「間伐の促進」

**問** 人工林は、坂井市の森林面積の54%を占めているが、その半数近くが手入れが必要。

目先の経済性より、100年先を見

据えた計画が必要でないか。  
①治山治水は行政の仕事である、今後の目標は。

②管理の必要性の周知方法は。

③坂井森林組合など、民間の力で坂井地区の間伐が推進できるのか。

**市長** ①旧森林整備計画の見直しを行い、20年3月、坂井市森林整備計画を策定。治山ダムの設置、林道整備、間伐、枝打ち、造林などを推進する。

②広報紙やホームページなどを通じて人工林の管理の必要性を周知したい。

③国・県の助成を受けながら、間伐を含め森林整備事業を推進したい。



▲ハートピア春江小ホール

## 耕作放棄地再生利用 緊急対策事業について

橋本 充雄



**橋本議員** 国の平成21年度予算の地方活性化対策事業である耕作放棄地再生利用緊急対策について問う。

①市における耕作放棄地の現状は。

②耕作放棄地対策協議会の設置に係る取り組みは。

③耕作者の確保、再生した土地が再度放棄地にならないようにすることが大切。耕作放棄地の解消に向けた今後の取り組みと課題は。

**市長** ①耕作放棄地は46ha、水田4.9ha、畑41.1ha。

畑地の60%を坂井北部丘陵地が占めている。

②現在、坂井市農業振興協議会を中心に設立準備を進めている。

③国が掲げる平成23年度を目標に、農振農用地32.7haの解消に取り組みたい。

耕作者の確保については、協議会の中で検討したい。復元した農地の継続活用のため、農家や農協だけでなく市民も含め継続できる耕作の体系をつくりたい。

### 地域活性化臨時交付金事業について

**問** 経済危機対策に関する国の平成21年度補正予算の成立を受け問う。



▲耕作放棄地（坂井北部丘陵地）

①経済危機対策臨時交付金事業については緊急を要する事業だと認識しているが、いつ提案されるのか。

②市として特徴ある事業の提案を示すべきだが、どう取り組むのか。

③公共投資臨時交付金事業については、どのような事業が該当するのか。

**市長** ①7月の臨時会で提案したい。

②学校教育施設備品の充実、中小企業の支援、観光地の魅力アップ事業、安心・安全対策、環境保全対策での活用を検討している。

③国の制度要綱が示されていない中、市においての対象事業は定まっていない。

## まちづくり協議会の 現状と課題について

畑野 麻美子



**畑野議員** 公民館単位で23カ所の「まちづくり協議会」が設立した。

それぞれ独自性を持って活動しているが、課題は多く、どう行政がかかわり、協働していくかが問われる。

①協議会は、住民自治としての役割がある。住民自治とは具体的にどのような組織か。

②それぞれの協議会の地域性や問題点と課題を把握しているのか。また、どう支援しているのか。

③公民館との関連について、どのように位置づけているのか。

④自治基本条例の策定委員に協議会の代表者を入れては。

**市長** ①住民自治における役割は、市民が主体となつて、まちづくり活動を実現していくもので、市の運営に住民の意思が直接反映されるもの。市民参加、情報共有を進めることで、より一層の住民自治が確立していく。

②同じものは二つとなく、財源の確保、人材の発掘・確保、地域住民の理解と浸透、既存の組織と調整など、協議会それぞれの悩みや課題を抱えている。

協議会間における情報交換や、事業の調整・協力ができるよう連絡機関の設置などの活用を推進していきたい。

③館長を中心に、協議会と意思の疎通を図りながら、地域の実情に合わせた事務支援をおこなうことを考えている。

④策定委員には、協議会で活動している人もいる。

**問** 協議会は行政の下請けのような意識になりやすいが。

**副市長** 行政が協議会を活用して下請けにすることはない。行政がやれること、市民がやれること、一緒にやれることなど、今後、理解が深まってくと思う。



▲お泊り会（たかむくのまちづくり協議会）



## 総合支所のあり方と 周辺の活性化策について

西岡 紀夫

**西岡議員** 最近総合支所周辺の活気がなくなり、商店街も大変さびれてきた。

特に、今は深刻な経済危機の中であり、商店街も大きなダメージを受けている。活性化策を考えるべきでは。

①将来に向けて、総合支所のあり方はどう考えているのか。

②総合支所周辺の活性化策をどのように描いているのか。

**市長** ①市民の利便性を最大限配慮しつつ、議会の意見も聞きながら、随時適切に見直していきたい。

②中小企業者のニーズを的確に把握するとともに、市商工会と緊密に連携を図りながら、活性化策に取り組んでいきたい。

**旧庁舎の利活用の現状と  
今後の整備方針について**

**問** 旧4町の庁舎は、坂井町以外は主に総合支所として利用されているが、まだかなりの部分が空きスペースとなっている。整備にあたっては、市民から親しまれ、賑わいを創出する利活用策を検討すべきと考える。

①旧3町の庁舎の利活用の現状は。



▲丸岡総合支所

②今後の利活用策と、その整備方針は。

③丸岡庁舎の具体的な整備方針とスケジュールについて。

**市長** ①主に総合支所事務所として利用している。全体的には旧町長室や議会フロアーの利用が進んでいない。

②平成19年度に公有財産利用検討委員会で検討した方針に沿って、整備を進めていきたい。

③1階に支所機能と高椋公民館事務所2階、3階は公民館としての各種会議室、4階は文化ホールとして整備する。

本年度中に基本設計費を計上し、平成22年度に工事費を予算化する。



## 食育推進の取り組みについて

伊藤 聖一

**伊藤議員** 食育の現場では、単に栄養教育にとどまらず、健康の問題、フードサイクル、フードマイレージなど

農業漁業と環境問題を関連付けた活動などが行われ、体験型学習の取り組みも多く実施されてきている。

①これまでの取り組みと食育推進計画策定後の違いはあるのか。

②栄養教諭と教職員、地域との連携に對しての支援をどのように行うのか。

③平章小学校の「弁当の日」の実践活動をどう評価しているのか。

**教育長** ①学校教育での食育推進については、「食育・給食に関する学校内の体制の充実」、調理実習や農園での体験活動の積極的な推進を図る「生きた教材の活用」など、学校給食実践プログラムを平成19年度に作成した。

②学校内の連携では、総合学習などにおいて学校毎に特色ある取り組みを実施している。

家庭との連携では、給食だよりの発信や給食試食会の実施など。

地域との連携では、地元JAや漁協

の協力のもと、米や野菜づくり、稚魚の放流など、地域の特徴を生かした交流事業を実践し、それらを支援していく。

③子どもたちは、回を追う毎に工夫を凝らし、意欲を持って取り組んでいる。保護者から、子どもたちに自信が

つき、進んで料理の手伝いをするようになったとの話を聞いており、素晴らしい取り組みと感じている。



▲マイ弁当



## 経済危機対策と取り組みについて

永井 純一

**永井議員** 生活者支援、雇用対策、中小企業支援、地域活性化などの国の交付金について、市においてどのような政策意図で取り組むのか。

**市長** 将来への投資、住みやすさ向上の2つの視点で取り組む。

将来ある子どもたちへの投資として、小中学校普通教室へ地上デジタルテレビの設置、教師用パソコンの配備など、学校教育施設の充実を考えている。

まちの活力を高めていくための投資として、雇用の確保、観光地の魅力アップ事業を検討している。

住みやすさ向上施策として、秋以降に向けての新型インフルエンザ対策やAEDの設置などを検討している。

**問** 再々度、乳幼児医療費無料化の拡充を。中学校卒業までの無料化を求めるが、段階的に進めたらどうか。

**市長** これからも県の補助拡大を強く要望していく。その中で前向きに検討していく。

**問** 国において、女性特有のがん検診推進事業で乳がん、子宮頸がんの無料クーポン券配布が盛り込まれた。

坂井市もすべての女性が受診できるように、検診手帳や無料クーポン券の配布が早急になされるよう積極的な取り組みを。

**市長** 子宮頸がん検診は20歳から40歳まで、乳がん検診は40歳から60歳までを対象に5歳刻みに無料クーポン券と検診手帳を交付する。

これによって受診率が向上し、女性特有のがんの早期発見と、健康意識の普及が図られることが期待できる。市も早急に実施したい。



▲乳房検診車



## 坂井図書館の移転と図書館政策

松本 朗

**松本議員** ①坂井市の図書館は、4館体制で多くの市民が利用している。

②合併前には各町一つずつあって、合併したらなぜ減らすのか。

**教育長** ①図書館は、学習情報の提供などを通じて、住民の自主的な活動を支援し、促進する役割を果たす。

坂井市の人口規模や、全国的な類似団体と比較すると多いと考えている。

②合併することによって、大きな器をスリム化しなければ、坂井市は発展しない。

**松本議員** それぞれの町が築いてきた財産を取り崩すことになる。

図書館協会は、図書館の数は、中学校区に一つが適当だと指摘している。

**坂井図書館を坂井中学校に併設で規模は縮小**

**問** ①坂井図書館を坂井中学校に併設することが検討されているが、そうなった場合に、従来の図書館と蔵書などの規模は同じになるのか。

②坂井図書館は、耐用年数はまだある

のではないか。  
**教育長** ①機能面、大きさは縮小されていくと思う。

②現在築22年。耐用年数はある。

**松本議員** 現在の坂井図書館は、市民によく利用されている。学校併設はセキュリティの問題があり、しかも現行機能は維持されることが明らかになった。これでは認められない。

**問** 坂井市には、市政情報を提供する場や公文書館が必要だが、その検討状況は。

**市長** 総合計画の実施計画や施設の見直しにあわせて検討する。



▲おはなし会(坂井図書館)





学校給食と地域経済について

前田 嘉彦

**前田議員** 給食方式の違いにおける財政試算は。

**教育部長** 春江・坂井給食センターでの4,000名分の給食を、30年分として概算した。

改築した場合は、人権費を含む公費負担・施設建設整備費・用地取得費などで約74億円。

自校式とした場合、約93億円。

民間委託クックチル方式の場合、委託料・各学校の厨房設備、ランチルームなどの費用で約60億円。

民間委託はプロポーザル方式によって業者選定の予定。

**問** 地産地消の促進の取り組みや地域商店街の活性化については。

**産業経済部長** 限られた予算範囲内での食材調達となるが、できるだけ地産地消を推進し、地元業者から食材を仕入れることができるよう、お互いに話し合いながら検討することが重要。

**問** 財政に与える影響は。

**財務部長** 施設や設備に対する市の財政負担が軽減され、行政改革による人員の削減効果が期待される。

また、事業所からの税込や雇用収入が見込める。



▲学校給食(春江・坂井学校給食センター)

**問** 献立作成・食材の調達・食材の検収・検食に市当局が係わるべきでは。

**教育部長** 栄養士または職員が学期に1回、業者の工場で伝票などを検収している。

不具合があれば改善の指摘をしており、今後、検収回数を増やすことも含めて考えていく。

**問** 委託仕様書作成は教育委員会だけではなく、担当部局も含めて市全体の意見を集約すべきでは。

**市長** 教育委員会だけではなく、各担当部一体となつていろいろな問題を解決していきながら、創意工夫をもってクックチル方式に取り組んでいきたい。

広域連合・一部事務組合報告

三国あわら斎苑組合

- 平成21年3月：第1回定例会
- 一般会計予算他4件が可決。
 

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 平成21年度 一般会計予算      | 5,299万円 |
| 平成21年度 代官山墓地特別会計予算 | 469万円   |

五領川公共下水道事務組合

- 平成21年3月：第74回定例会
- 下水道事業会計予算他3件が可決。
 

|              |           |
|--------------|-----------|
| 平成21年度 資本的収入 | 2億5,676万円 |
| 資本的支出        | 4億1,076万円 |
- 平成21年5月：第75回臨時会
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定1件が可決。

武生三国モーターボート競走施行組合

- 平成21年3月：第1回定例会
- 一般会計予算他2件が可決。
 

|               |             |
|---------------|-------------|
| 平成21年度 一般会計予算 | 339億5,780万円 |
|---------------|-------------|

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

- 平成21年3月：第144回定例会
- 一般会計予算他3件が可決。
 

|               |            |
|---------------|------------|
| 平成21年度 一般会計予算 | 33億8,553万円 |
| (坂井市分)        | 11億4,823万円 |

坂井地区環境衛生組合

- 平成21年3月：定例会
- 一般会計予算他2件が可決。
 

|               |           |
|---------------|-----------|
| 平成21年度 一般会計予算 | 6億7,988万円 |
|---------------|-----------|
- 平成21年5月：臨時会
- 坂井地区汚泥再生処理センター整備・運営事業建設工事請負契約の締結について

嶺北消防組合

- 平成21年3月：第1回定例会
- 一般会計予算が可決。
 

|               |            |
|---------------|------------|
| 平成21年度 一般会計予算 | 19億7,653万円 |
| (坂井市分)        | 14億1,584万円 |
- 一般質問  
山口議員(あわら市)「消防の広域化と救急体制について」
- 平成21年6月：第2回臨時会
- 一般会計補正予算(第1号)他3件が可決。

福井県後期高齢者医療広域連合

- 平成21年3月：第1回定例会
- 一般会計予算他8件が可決。
 

|               |             |
|---------------|-------------|
| 平成21年度 一般会計予算 | 4億9,744万円   |
| 平成21年度 特別会計予算 | 901億5,668万円 |
- 一般質問  
畑野議員「資格証明書発行について」他

# 総務常任委員会

## ■総務部

**問** 弁護士報酬180万円の内容と経費の内訳は。

**答** 旧春江町の工業振興条例に基づく助成金に関する訴訟に伴うもので、裁判に伴う着手金60万円、報酬120万円である。なお、報酬は成功報酬である。

**問** コミュニティ(宝くじ)助成事業の内容は。

**答** ①生活環境の清潔・静けさ、美観の維持など  
②健康の管理・増進  
③生活安全の確保の推進  
④祭り、運動会、その他コミュニティ行事など  
⑤文化・学習活動  
⑥体育・レクリエーション活動  
⑦その他(コミュニティ掲示板など)

**問** 年間に何件くらいの枠があるのか、また、どのように決められているのか。

**答** 県で枠が決められており、市の裁量権は全くない。申請書類は各支所の地域課が取りまとめている。

**問** 自主防災組織育成助成事業の対象地区と戸数は。

**答** 今回は下兵庫自治会に整備。戸数は230戸、人口は約900人。

**問** 具体的にどのような物を整備するのか。

**答** 防災機具格納庫、小型消防ポンプ、ホース格納箱など。

**問** 総事業費はいくらになるのか。補助率はどうなっているのか。

**答** 事業費は203万円で、ほぼ100%補助となる。あと3ヵ所から要望があるため、引き続き対象となるよう県に要望していきたい。

また、自治会の防災資機材整備助成事業として、1/3補助、限度額10万円については、毎年、市の単独事業で対応している。



▲コミュニティ助成事業(長屋自治会)

# 教育民生常任委員会

## ■生活環境部

**問** 消費者行政推進事業を啓発するために出前講座を行うが、どのような単位で行うのか。

**答** 子どもから高齢者まで各種団体、学校、PTA関係など、都合がつけば人が集まるあらゆる機会をとらえて行いたい。

**問** 証明書自動交付機導入に伴う住民基本台帳カードは、全市民に発行するのか。

**答** 住民基本台帳カードは申請主義。平成21年4月1日から平成23年3月31日までは交付手数料が無料となっているので、できるだけ申請してほしい。



▲証明書自動交付機

**問** 証明書発行の時間帯、手数料は。

**答** 平日は午前7時30分から午後8時まで、休日は午前8時30分から午後5時30分までと考えている。

なるべく利用してもらうために、手数料の条例改正により、300円から200円に減額したいと考えている。

## ■福祉保健部

**問** 体調不良児対応をつぼみ保育園で行うが、どのような事業か。

**答** 保育所登所後に体調不良となった児童を、保護者が迎えに来るまでの時間を預かるもので、看護師の配置が必要となる。

## ■教育委員会

**問** 三国中学校へのALT配置について、なぜ県へもっと強く要望しなかったのか。

**答** 県へは、これまでも重要要望事項として要望してきたが、引き続き強く要望していく。

**問** 豊かな体験活動推進事業は継続的な事業と考えてよいのか。

**答** 県で12校に割りあてられた事業。事業の基となる子ども農山・漁村交流プロジェクトは、国の委託事業として継続される。

## 産業経済常任委員会

### ■産業経済部

**問** 林道維持管理事業はどのような内容か。

**答** 市が管理する林道の路肩や林地の草刈りを、市が直接雇用して行う事業である。

**問** 緊急雇用創出事業で小中学校の草刈りなどを委託しているが、その処理方法は。

**答** 刈り草については、基本的に委託された所で処分している。

剪定枝は清掃センターに搬入、または森林組合で処理しており、チップ化、堆肥化、焼却処分されている。今後、堆肥化についてはさらに協議していく。

**問** 企業立地促進助成金の交付条件に、新規雇用者が坂井市民であることの規定はあるのか。また、雇用状態の追跡調査は行っているのか。

**答** 現条例では、坂井市民との規定はない。

追跡調査としては、1年目の決算報告などでの交付条件の確認の際に行っている。今後、期間を定めて報告するような規則の見直しを検討したい。

**問** 産業フェア開催への意気込みと実施時期は。

**答** 開催に向けての準備作業を行うため、臨時職員を緊急雇用創出事業により1名雇用する。

企業を主体として、市民や多くの人にアピールできるように、22年秋頃に開催したい。

**問** 競争力のある福井米づくり事業の大粒化技術導入の助成で1.9ミリの選別機とあるが、その効果は。

**答** 品質向上が見込まれ、福井米が市場での競争力に勝てる米づくりの促進である。

効果はこれから市場で出てくるものと考えている。



▲林道での作業

## 建設常任委員会

### ■上下水道部

**問** 平成20年度の水洗化促進の取り組み状況と今年度の取り組みは。

**答** 事前に接続依頼書を送付し、上下水道部の全職員が15班体制で戸別訪問を実施しており、接続件数は738戸、水洗化率は84.7%から86.2%に向上した。今年度も7月から8月にかけて実施する予定である。

**問** 浄化槽利用と下水道利用での経費の比較は。

**答** 一般家庭4人家族の単独浄化槽の年間維持管理費は、清掃・点検・汚泥引き抜きなどで年間約5万円前後。下水道の場合もほぼ同程度である。

### ■建設部

**問** 屋外広告物の設置については、環境保全整備地区など条例に一定の規制があるが、県として指定をしているのか。

**答** 県の条例で制定されており、屋外広告物を設置できる区間とできない地域を指定している。

**問** 適用除外規定というのが第8条にあるが、まつりのポスターなどは適用除外になるのか。

**答** 地方公共団体が共催など、支援をしているような場合には適用除外としている。

**問** 旧友影病院の建物および土地の買収に対する考え方は。

**答** 城周辺整備基金を活用し、更地となった段階で土地を購入する。

**問** 丸岡城の安全防護柵の概要は。

**答** 城の登り口道路に約90m設置し、檜材を使用する。



▲旧友影病院

# 6月定例会審議結果

## 議案一覧

|                                  |        |                                |        |
|----------------------------------|--------|--------------------------------|--------|
| 平成20年度坂井市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について   | 受理     | 平成20年度坂井市水道事業会計継続費繰越計算書の報告について | 受理     |
| 平成20年度坂井市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について | 受理     | 平成21年度坂井市一般会計補正予算(第1号)         | 全員賛成可決 |
| 坂井市営駐車場条例の一部を改正する条例について          | 全員賛成可決 | 旧友影病院の建物および土地の買収に関する要望について     | 一部採択   |
| スクールバス自己負担額の軽減を求める陳情について         | 継続審査   | 食料・農業・農村政策に関する意見書の提出について       | 賛成多数可決 |
| 食料・農業・農村政策に関する要請について             | 採択     | 非核日本宣言を求める意見書採択についての陳情について     | 採択     |
| 食料・農業・農村政策に関する意見書の提出について         | 賛成多数可決 | 非核日本宣言を求める意見書の提出について           | 賛成多数可決 |
| 公平委員会委員の選任について                   | 同意     | 人権擁護委員候補者の推薦について               | 原案答申   |

## 議会改革特別委員会設置 (H21.6.26)

この委員会では、次の5項目について協議します。

- ① 議員定数    ② 議員報酬    ③ 政務調査費
- ④ 行政視察(旅費)    ⑤ 広域連合・一部事務組合等の報酬

|     |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員長 | 橋本 充雄 | 副委員長  | 木下 恒則 |
| 委員  | 松本 朗  | 川畑 孝治 | 永井 純一 |
|     | 橋本幸一郎 | 山田 栄  | 岡田 十八 |
|     | 西岡 紀夫 | 釣部 勝義 | 西野 清志 |



### ☆議会を傍聴してみませんか

今回は平成21年9月10日(木)からの予定です。

平成21年9月定例会会期日程

9月10日(木)本会議(初日)    15日(火)本会議(一般質問)  
14日(月)本会議(一般質問)    30日(水)本会議(最終日)

※ 今後変更になる場合がありますので、議会事務局(直通50-3001)へお問い合わせ下さい。

### 傍聴者の声

去る6月15日、一般質問の傍聴をした。ケーブルTVで放映されている様子を時々見るが、傍聴席で聞くのも意気込みや迫力を体感でき良いものであった。質問に立つ議員は、市民に意見を聞いたり、自分自身もよく調査活動しているようで、今後も市民の代表としてしっかり頑張ってもらいたい。

今年は合併して4年目になるが、合併時の精神を考え、合併特例債の活用、合併してよかったと感じられ、安全で安心して暮らせるまちを望んでいる。

三国町自治会長

今年、孫が丸岡中学校に入学した。早4ヵ月勉強・部活に頑張っている。ただ1つ不満は、給食が美味しくないということだそう。

私としては、安全・安心な食材(地産地消)と、校内で「におい」のわかる学校給食を望んでいるのだが・・・

女性の会会員

### 編集後記

一部組織替えにより、広報編集委員長を務めさせていただくことになりました。地方分権の推進により地方の負担が増え、経済的に厳しい当市の現況ですが、ピンチをチャンスに変える逆転の発想で、市民の皆さまと知恵を出し合い、希望を持って前進したいと思っています。

市民の皆さまと議会をつなぐかけ橋として、議会だよりがお役に立てれば光榮です。ご感想、ご意見をお寄せください。

S・M